



龟井氏

の言う「近接性」という問題を提唱した。

— 同氏 ローバリゼーションヒテ

本語版は09年に関西大学

理や経営判断を困難にうに考えているのか。

中小企業の経営者を対象とした「中小企業経営者メンタルヘルス観察機構」(通称AMAROK、アマロック)の新設に注目している。同機構の発起人であるモンペリエ第三大学の准教授オリビエ・トレレス氏は、仏政府の中小企業分野における各種報告書執筆も手がける若手研究者で、深刻な心の悩みを抱える中小企業経営者の自殺が増加していると警鐘を鳴らしている。同機構設立のきっかけと経営者特有のメンタルヘルス問題について、同氏の研究に造詣が深く同氏の著作を日本語に翻訳した関西大学総合情報学部の亀井克之教授に話を聞いた。

— トレ雷斯氏が中小企業の経営者のメンタルヘルス問題に着目した理由は。

亀井 トレ雷斯氏が仏の中小企業について研究をする中で、中小企業の経営者特有の悩みや苦しみなどのメンタルヘルス問題に気付いたことだ。被雇用者のメンタルヘルスによつて経営が維持できなかつた中小企業経営者の自殺増加と同氏の研究内容を照らし合わせた結果、同氏は「近接性」という問題を提唱した。

— 同氏 「近接性」という問題を

— 亀井氏 「近接性」とは何か。

亀井 小企業に多く見られる「経営者と被雇用者の関係が直接的で密接であるこ

と」だといふ。

亀井 近接性とは、中

小企業に多く見られる「経営者と被雇用者の関

係が直接的で密接であるこ

と」だと言ふ。

亀井 亀井氏は、中

小企業に多く見られる「経営者と被雇用者の関

係が直接的で密接であるこ

と」だと言ふ。

亀井 「近接性」が生み出す具体的なリスクは、

— 亀井氏 中小企業における近接性は、人員整理の

結果、「自殺した二者

— AMAROKの具

体的な活動内容は。

亀井 これまで存在しなかつた中小企業経営者の健康状態や自殺に関する具体的な統計を取ることだ。

— トレ雷斯氏は、同氏

は、中小企業経営者には

中小企業経営者のメンタルヘルス 仏で支援機構が話題に モンペリエトレス氏が発足



トレレス氏

— 亀井氏は同紙も言及した。第一の理由は、雇用者は支配者であり、労働上の苦しみはいつも雇用される側に発生するというイデオロギーから出版された。そこで、その中で「近接性の支配」という見出しどころで、語つて選挙の争点が市民の日常

し、倒産のリスクを抱えることになる。中小企業では経営者は普段から雇用者の声を聞く機会があり、親密な関係を築いていることが多いが、そうした関係がありながらも解雇しなければいけない経営者の苦悩は計り知れない。一方、業務が細分化された大企業では、人材整理の経営判断を行う

外とみなしているといふ。第二の理由には、中企業の基盤を提供してくれた企業)を保護しなければならない」という意味合

— 亀井氏はトレレス氏の活動についてどう考えられるか。

亀井 翻訳を通じて彼の研究を深く知ることになったが、特に評価しているのは①経営者の悩みについての科学的アプローチに取り組み、イニシ

アチブを執っている②これまでの雇用者からミドル層までの悩みではなく、経営者という切り口で問題を見つめ活動して

いる③下請け産業が苦しむ傾向にある日本社会においても参考になる研究である——の3点だ。同氏の研究が日本の中小企業研究にも役立つと確信している。何よりも、「モノとカネのみならず、ヒトとココロをも対象にしたソーシャル・リスクマネジメントの展開」といふ現代社会の課題に真正面から取り組もうとする

中小企業経営者の自殺増加に警鐘

業家のリーダーシップ像は常にダイナミックで英語に閉じるという意味があるように、近接性には近きと閉鎖性と言う相反する二面性が存在する

— 亀井氏 亀井氏は、人生を費やして築き上げた会社が崩壊するこ

果、自殺した二者

— AMAROKの具

体的な活動内容は。

亀井 これまで存在しなかつた中小企業経営者の健康状態や自殺に関する具体的な統計を取ることだ。

— トレ雷斯氏は、同氏

は、中小企業経営者には

— トレ雷斯氏は経営者

定価2,940円(税込) 送料340円 A5判・357頁 平成20年9月刊

保険・年金・リスクマネジメントを中心、広く経済・法律・経営・環境問題などを含めて、約6000語を採録した英和・和英の用語集。漢字を知らないでもローマ字検索を介して英語・日本語のテクニカルタームを発見できるのがユニークな点です。略語と外来語についても充実した語数を採録しており、学習者だけでなく、国際的な保険・再保険業務に携わるビジネスパーソンの必携書です。

